

沖縄県

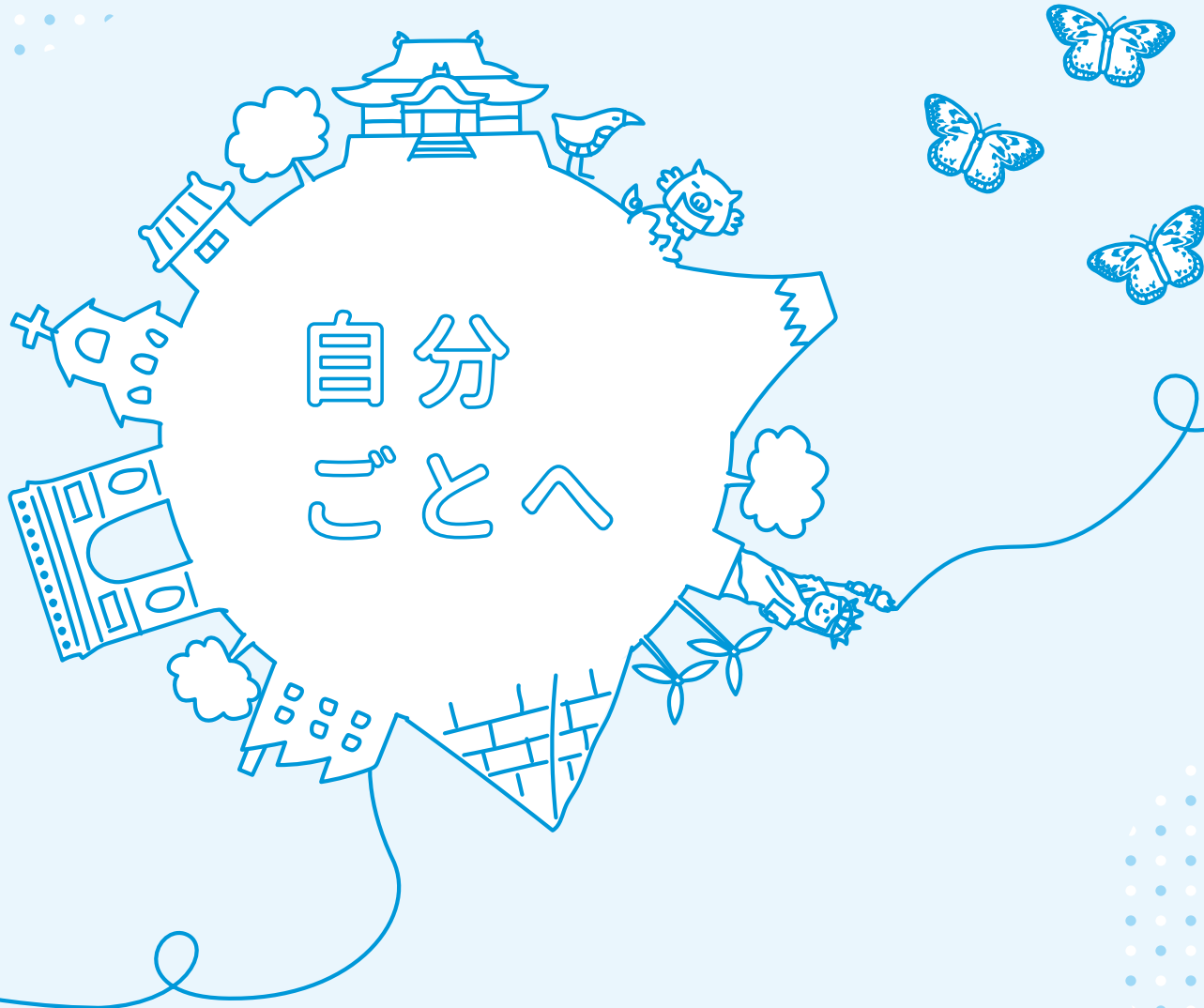
エス・ディー・ジーズ

SDGs

実施指針

概要版

～みんなで目指す沖縄の未来～





県民一人ひとりが「自分ごと」として取り組む

持続可能な沖縄の 発展を目指して



沖縄におけるSDGs推進の意義

SDGsは国際社会全体の普遍的目標であり、地域レベル、そして世界レベルでSDGsを達成するために、沖縄においても主体的に行動しなければなりません。そのためには、自治体が計画し実施する事業等にとどまらず、企業・団体や県民一人ひとりが、意識して行動することが求められています。

一人ひとりの
意識が大切



実施指針の目的

沖縄21世紀ビジョンの将来像の実現に向け、SDGsを推進することで、新たな時代に対応した持続可能な沖縄の発展を目指すとともに、日本や世界のSDGs達成に直結する沖縄の取組という観点から、県が県民とともにSDGsを推進する指針として「沖縄県SDGs実施指針」を策定しました。



沖縄らしいSDGsの基本理念

平和を求めて時代を切り拓き、
世界と交流し、ともに支え合い誰一人取り残さない、
持続可能な『美ら島』おきなわの実現

この基本理念は残すべき、あるいは残したい沖縄らしさと、
変えていくべき沖縄の双方を含有し、
継承と変革への沖縄の挑戦を示すものでもあります

<基本理念の視点>

- **平和を求める**・・・ 歴史的特性、住民を巻き込んだ熾烈な地上戦の経験を踏まえた「平和」を希求する意思
- **時代を切り拓く**・・・ 県民一人ひとりが次の時代を切り拓く主人公、意欲的に前進し気運に溢れる社会の創造
- **世界と交流する**・・・ 県民一人ひとりが交流の主体、多様な交流を展開し魅力あふれる社会の創造
- **支え合う**・・・ 沖縄の伝統に根ざす人と人のつながりを大切にする社会の創造
- **誰一人取り残さない**・・・ SDGsの基本理念、17のゴールの達成に向けて基本となる視点
- **持続可能な**・・・ 沖縄の魅力や優位性を活かし、経済、社会、環境が調和した経済発展を実現
- **美ら島**・・・ 豊かな自然を守り、次世代、さらに次世代に送りつなげる視点

SDGs 推進における重要な視点

県を含め、様々なステークホルダーにおいてSDGsを推進する際の、
重要な視点をまとめています。

加えて、それぞれが出来るところから取り組む視点も重要です。

- **SDGsの5つの主要原則、バックキャストなどの基本的な視点**
 - 【**普遍性**】地方創生を含めた取組と国際協力の両面から取り組む
 - 【**包摂性**】脆弱な立場におかれた人々に焦点を当てる
 - 【**参画型**】多様なステークホルダーの主體的な取組を促進、県民参加型のSDGsを推進
 - 【**統合性**】経済・社会・環境の三分野の全てにおける相互関連性・相乗効果を重視
 - 【**透明性と説明責任**】取組の実施の状況について、高い透明性を確保して評価、公表
 - 【**バックキャスト**】目指すべき社会の姿から振り返って現在すべきことを考える視点
- **「自分ごと・我が事」として捉える**
 - 持続可能な社会を構築するため、共通の目標を掲げ、一人ひとりができることを日々実行
- **ステークホルダーの関与と「社会全体で作り上げる」枠組**
 - 可能な限りステークホルダーが参加する場を設け、広く声をすくい上げることが重要
- **モニタリング・定期的な見直し**
 - PDCAサイクルによる進捗のフォローアップ等が重要
- **取組の可視化と情報の発信及びインセンティブの設計**
 - 取組の見える化やインセンティブの設計の検討が重要

沖縄らしいSDGsの実現に向けた優先課題

沖縄らしいSDGsの基本理念の達成に向けた取組の柱として、
 沖縄の歴史的・地理的・自然的・社会的特殊事情を踏まえて、12の優先課題を設定しました。
 これらの優先課題は不可分であり、課題間の優劣なく、基本理念の達成のために
 すべてに統合的な形で取り組むこととします。

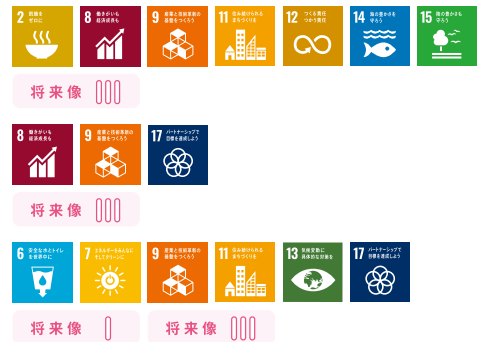
People 人間

- 性の多様性(LGBT等)、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現(多様性の尊重、個人の尊厳)
- 医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし
- 地域への誇り(しまくとぅばの普及・推進等)と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実



Prosperity 繁栄

- 基幹産業として持続可能で責任ある観光(サステナブル/レスポンスブルツーリズム)の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興(農林水産業におけるブランド化等)、県経済の基盤となる安定的な雇用
- 日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点
- 気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備



Planet 地球

- 多様な生物・生態系や自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル



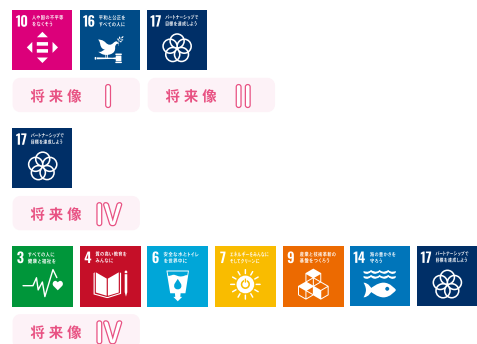
Peace 平和

- 基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信
- 共助・共創型の安全・安心な社会の実現



Partnership パートナーシップ

- ユイマール(相互扶助)の継承、人の和・地域の和
- 地域・世代・分野・文化等を越えた多様な交流と連携の創出
- 世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ



ステークホルダーに期待される役割

1 ビジネス・民間セクター

- 企業の経営戦略及び個別の事業戦略におけるSDGsの主流化
- 収益基盤となる本業におけるSDGsの取組への転換
- 社会課題の解決に資する新たなビジネスモデルの構築

2 金融・ファイナンス

- 零細・中小企業に対する公的・民間の金融支援のさらなる充実
- 人々に寄り添う市民社会組織等への資金の支援
- 環境・社会・ガバナンスの要素を考慮するESG金融等の好循環の仕組みづくり



3 県民及び市民社会組織

- 声を上げられない、上げにくい人たちの声を聞き取り、多様なステークホルダーの活動に反映されるよう橋渡し
- 海洋ごみ、食品ロスをなくす工夫等、環境への影響・負荷を意識した活動
- 県民一人ひとりの日常的な気づきや行動

4 女性

- 女性が意思決定に参画し、リーダーシップを発揮することで、女性だけでなく、高齢者や子ども、障がいのある人、LGBT等、社会的配慮が必要な人々の声も施策や事業に反映されやすくなる
- 人々の意識が変わり、多様なステークホルダーが協力し合い、ジェンダー平等な地域・社会づくりに取り組むことが必要



5 若者

- SDGsの達成期限である2030年やその後の社会を担い、ポストSDGsの議論の主体となる若者が、現在の官民のSDGs推進体制の重要な構成メンバーとして参画し、意見や提言などをしていく場の設定などが必要

7 研究機関

- 目標設定やモニタリングに有用なデータ収集・分析
- 優先課題間のトレードオフの関係を克服する科学技術イノベーションによるSDGs達成への貢献
- 国内外とのネットワークも活用し、地域課題の解決に取り組む

6 教育機関

- 持続可能な開発のための教育(ESD)の取組の活性化
- 児童・生徒にわかりやすく、なじみやすい教材・導入資料の作成や教員に対する研修の実施、産学連携、地域社会との連携、SDGsの研究モデル校の選定等の取組が重要

8 文化・芸術、スポーツ振興者

- 沖縄におけるSDGs推進の取組は、沖縄独特の文化・言語、芸術・芸能、スポーツを通じて促進することが重要



9 マスメディア

- 県民が直面する社会課題をより深く、多角的に掘り下げ、声を上げられない、上げにくい人たちの声をすくい取った情報を広範なステークホルダーと連携・協働し、発信

10 市町村

- 地域の実情に応じた様々な取組が進められており、取組の可視化を含む、県や市町村間の相互の情報共有や「点から面へ」展開する連携・協働
- 地域共同体、市民社会組織や企業などの多様なステークホルダーと連携し、SDGs推進の取組を強化

11 議会

- 国連の2030アジェンダや国の実施指針において、効果的な実施と説明責任の観点から不可欠な役割を果たすとの認識
- 広く住民一人ひとりの声を拾い上げ、社会課題の解決に向けた政策を議論

12 観光客

- 観光で訪れる人々の行動も重要、共感と参画を引き出す工夫が必要



13 世界のウチナンチュ(ウチナーネットワーク)

- 沖縄県は全国でも有数の移民送出県であり、その子孫も含めた県系人(ウチナンチュ)は世界各地に約42万人いると推計
- 沖縄が諸外国・地域との交流と連携を深めながら共に発展していくため、世界に広がるウチナーネットワークの継承・発展に取り組むことが重要



沖縄県は エス・ディー・ジーズ SDGs未来都市に 選定されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



沖縄県におけるSDGsの推進について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/kikaku/sdgs.html>



沖縄県SDGs特設サイト

<https://www.okinawa-sdgs.jp/>



企画部企画調整課 SDGs推進室

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

電話番号：098-866-2026 FAX番号：098-866-2351



GREEN PRINTING JPN
F-B10253

この印刷物は環境にやさしい
ベジタブルオイルインクを使用しています。

古紙パルプ配合率60%再生紙を使用